

aynu teeta cikor a puri, tane okay cikor puri

令和3年度 アイヌ工芸品展
北海道博物館 第18回企画テーマ展

アイヌのくらし

— 時代・地域・さまざまな姿



1934年に平取町にて撮影された子供たち(北海道博物館蔵)と、
同年に同町紫雲古津で使用されていた着物(北海道大学フィールド科学センター・植物園蔵)

北海道博物館 2階 特別展示室

2021年10月16日(土)～12月12日(日)

◆前期/10月16日(土)～11月14日(日) ◆後期/11月16日(火)～12月12日(日)

会期中、一部の資料を展示替えします。休館日は毎週月曜日
開館時間：午前9時30分～午後4時30分(入場は午後4時まで)
観覧料：無料(総合展示をご覧になる場合は別途料金がかかります)
■主催：北海道博物館、公益財団法人アイヌ民族文化財団
■後援：公益社団法人北海道アイヌ協会、北海道教育委員会、国土交通省
文化庁・北海道補助事業

令和3年度 アイヌ工芸品展
北海道博物館 第18回企画テーマ展

アイヌのくらし

— 時代・地域・さまざまな姿

激しく移り変わる時代のなか、今日までその歴史をつないできた日本の先住民族アイヌ。

本展では、時代や地域、作成者や使用者が明らかな「モノ」を起点として、その背後にあった人びとのくらしを紹介します。

これまで現存する資料の存在がほとんど知られてこなかった北千島アイヌのロシア風衣服ほか、約350点を展示。



1



2



3



4



5

- ① イナウ
収集地:色丹島 根室市歴史と自然の資料館蔵
- ② テンキ草製容器
収集地:色丹島 北海道博物館蔵
- ③ ロシア風の衣服
収集地:色丹島 根室市歴史と自然の資料館蔵
- ④ 煙草入れ
収集地:鹿部町(樺太引揚者) 北海道博物館蔵
- ⑤ 葬儀用品
収集地:新ひだか町東静内 北海道博物館蔵

■ 展示構成

序章：歴史の中のアイヌ工芸

第I章：北海道 日本海沿岸の人びと

第II章：北海道 オホーツク海沿岸の人びと

第III章：アイヌ社会と和人社会の「交易」

第IV章：北千島と樺太の人びと

第V章：北海道 太平洋沿岸の人びと

第VI章：群馬のケズリバナとアイヌのイナウ

■ 関連行事(参加無料) 会場/当館講堂(定員:80名)

- 連続講座① アイヌ文化を見る目**
講師/北原次郎太氏(北海道大学) 日時/10月17日(日)13:30~15:30
- 連続講座② 後志地方のアイヌ民族が生きた近代**
講師/大坂拓(当館職員) 日時/10月31日(日)13:30~15:30
- 連続講座③ 名工の誕生：アイヌ工芸品に込められたメッセージ**
講師/谷本晃久氏(北海道大学) 日時/11月7日(日)13:30~15:30

- 連続講座④ 知られざる千島アイヌの歴史—考古学が解明する文字記録以前のすがた—**
講師/高瀬克範氏(北海道大学) 日時/11月14日(日)13:30~15:30
- 連続講座⑤ 資料館をつくる—アイヌ民族によるアイヌ文化展示の歴史をたどる—**
講師/小川正人(当館職員) 日時/11月28日(日)13:30~15:30
- 連続講座⑥ 近世・近代の日本社会に流通した「アイヌ工芸品」**
講師/三浦泰之(当館職員) 日時/12月12日(日)13:30~15:30

申込方法

お電話 011-898-0500にて開催日の1か月前から受付開始(先着)(受付時間：開館日の午前9時30分~午後5時) *感染症の拡大状況によっては内容を変更または中止する場合があります。

■ アクセス

バス：新札幌駅▶バスターミナルのりば⑩(北レーン)ジェイ・アール北海道バス 新22「開拓の村」行き、「北海道博物館」下車
森林公園駅▶東口のりば 上記「開拓の村」行きに乗り
徒歩：森林公園駅から20~25分
お車：無料駐車場あり



北海道博物館 | 〒004-0006 札幌市厚別区厚別町小野幌53-2
TEL : 011-898-0466



<https://www.hm.pref.hokkaido.lg.jp/>

北海道博物館

